

2025年1月5日

「解放の告知」

イザヤ書 61:1-3

早川 真牧師

2 節にある「主が私たちに恵みをお与えになる年」、それはイエス・キリストが来られてから今にまで至ります。この年にイエス・キリストを通してご自分のもとに来る者に解放を与え、神が報復される日を告知するとあります。この報復される日とは、キリストが再び来られる時で、報復される相手はサタンを頭とする悪の諸霊です。この悪の諸霊は、今も目には見えませんが私たちが罪と死の中に捕らえるために働いています。

3 節後半に「彼らは主が輝きを現すために植えられた正義の樅の木と呼ばれる。」とあります。樅の木がどんな時にも緑の葉を身にまとうように、クリスチャンもまた神の恵みをどんな時も証しする存在として神に用いられると言うことがここに示されています。私たちの人生は決して元気な時ばかりではありません。病の中にある時、また困難の中に置かれる時があります。しかしそのような時にこそ神は解放の告知を通して私たちに慰められます。そして主によって解放され、喜びが与えられた者は今度は解放を告知するものとして用いられていきます。私たちはイエス・キリストを信じてからも日々悪の諸霊の攻撃を受けています。悪魔は私たちの弱さを私たち以上に知っていて、罪と死とに束縛しようと常に働きかけています。しかしキリストが再び来られる時、神は悪の諸霊を完全に滅ぼされます。その時まで私たちは主の愛を告知し続けてまいりたいと思います。そして、互いにキリストの解放の告知者として、主の恵みを証し合い、正義の樅の木として共に成長してまいりたいと思います。